

ハイブリッド・ファイルサーバソリューション 導入事例

住友ベークライト株式会社様

オンプレとクラウドを融合し、“ファイルアクセスの高速性”と
“容量の柔軟性”を持たせたファイルサーバのハイブリッド運用を実現



住友ベークライト株式会社
情報システム部
担当部長
松本 利朗 氏



住友ベークライト株式会社
IT企画推進グループ
北川 正紀 氏



住友ベークライト株式会社
IT企画推進グループ
牧田 智裕 氏

住友ベークライト株式会社

社名：住友ベークライト株式会社
所在地：東京都品川区東品川二丁目5番8号
天王洲パークサイドビル
設立：1955年
資本金：37,143百万円（2019年3月31日）
従業員数：単独 1,632名／連結 5,896名（同上）
概要：日本初のプラスチック製造をおこなった会社を起源にもち、「プラスチックのパイオニア」として、グローバル規模で事業を展開。自動車・車両・航空機、エレクトロニクス・電機、土木・建築・住宅、産業資材、医療、バイオ、農業、機能包装、店舗装飾など幅広い用途に、さまざまな機能を持つプラスチックを提供しています。

URL：<https://www.sumibe.co.jp/>



事例のポイント

課題背景

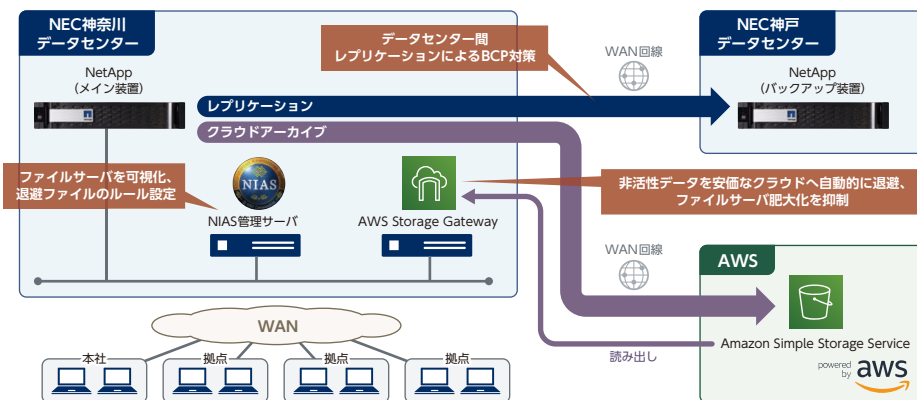
- ・拠点ごとにファイルサーバが乱立し、管理の手間とコストがかかっていた
- ・利用頻度の低いファイルがファイルサーバの容量を圧迫。ユーザの許可なく削除できないためデータ容量が増え続けていた
- ・データ容量の不足時のハードウェア増設に伴う手間やコストの増加を避けなかった

成果

- ・ファイルサーバをNetAppに統合し、高速なファイルアクセス環境を実現
分散していたファイルサーバをNetAppに統合し、情報システム部門がまとめて管理できる環境を整備。さらにレプリケーション機能を使って遠隔地にデータを転送し、BCP対策も万全に
- ・利用頻度の低いファイルを自動的にクラウドへ退避させ、ファイルサーバ容量のひっ迫を防止
ファイルサーバ統合管理ソフトウェア「NEC Information Assessment System」(以下、NIAS)でファイルの利用状況を可視化し、1年間、未更新・未参照のファイルは自動的にクラウドへ退避させデータ増加によるNetAppの容量ひっ迫を防止
- ・クラウドストレージの利用により容量の柔軟性を確保し、手間とコストを削減
安価で高い拡張性を備えたAmazon Simple Storage Service(以下、Amazon S3)を退避用のストレージとして利用することで増設に伴う管理の手間とコストを削減

導入ソリューション

●ハイブリッド・ファイルサーバソリューション



NECデータセンターにNetAppを導入しファイルサーバを統合。統合したファイルは、NIASの機能を使って利用状況やアクセス権を可視化し、情報システム部門がまとめて管理。使用頻度の低いファイルは、NIASに設定した任意のルールによりAWS Storage Gatewayを通してAmazon S3へ退避し、安全かつ効率的な運用を実現。さらに、BCP対策としてNetAppのレプリケーション機能により遠隔地のデータセンターへバックアップ。

導入前の背景や課題

全国7カ所にファイルサーバが分散、 ファイルの管理が煩雑化

住友ベークライト様は、日本初のプラスチック製造をおこなった会社を起源にもち、「プラスチックのパイオニア」として、グローバル規模で事業を展開。自動車・車両・航空機、エレクトロニクス・電機、土木・建築・住宅、産業資材、医療、バイオ、農業、機能包装、店舗装飾など幅広い用途に、さまざまな機能を持つプラスチックを提供しています。同社が抱えていた課題は、全国の拠点ごとに設置されているファイルサーバの利用状況を把握できていないために重複ファイルや未利用ファイルを整理できないことと、年々増加するデータ

への対応でした。「全国7カ所にファイルサーバを設置していましたが、ここ数年でデータ量が急増していました。5年間で容量が15倍以上に増え、数年前に各拠点のファイルサーバを増強したのですが、容量不足の拠点が発生しており、このままファイルサーバを拡張し続けることにコスト面も含め限界を感じていました」と住友ベークライト 情報システム部 担当部長の松本利朗氏は説明します。住友ベークライト様の関連会社としてシステム開発を担う住友情報システムIT企画推進グループの北川正紀氏は「ファイルサーバは拠点ごとに管理され、ファイルの内容も数量も情報システム部門では把握できていませんでした。きちんと

中身を把握できれば重複ファイルを削除するなどして容量不足を補えると考えたのですが、それも一時しのぎに過ぎず、いずれディスク容量が不足することは明らかでした」と、ファイル管理の課題を説明します。

住友情報システムの牧田智裕氏は「以前、ファイルの利用状況を把握するため、コマンドベースでファイル名を抽出してデータベースに取り込み、整理しようと試みましたが、データ量が膨大過ぎて一覧表作成に1週間、データベース集計に3日もかかり、手作業では不可能だと判断しました」とデータ管理の困難さについて説明します。

選択のポイント

NECにしか実現できない ハイブリッドなソリューションを評価

住友ベークライト様から、容量不足という課題を解決するためクラウドへデータを退避できないかとの相談を受けたNECは、分散しているファイルサーバを統合するとともに、ファイル使用頻度に応じオンプレミスとクラウドへ適材適所にデータの配置が可能なハイブリッド・ファイルサーバソリューションを提案しました。このソリューションの特徴は、NIASの機能を

使ってすべてのファイル情報を自動的に収集し可視化するとともに、システム管理者が設定した任意のルールに基づいて、使用頻度の低いファイルは自動的にAmazon S3へ退避させられることです。これによりオンプレミスのファイルサーバの容量逼迫を防ぐとともに、安価で拡張性の高いAmazon S3を利用することで管理負荷低減とコスト削減を実現できます。「NIASを使いオンプレミスとクラウドのストレージを融合するソリューションはNECにしか実現できないプランでしたし、ファイルサーバの

容量不足という喫緊の問題を解決するだけではなく、将来的にデータ量が増えてもコストや手間を抑えて適切にファイルを管理し続けられることを評価し、導入しました」と松本氏は、NECのソリューションを採用した理由を話します。「NIASにはアクセス権が不適切なファイルを特定し一括修正する機能もあるのでコンプライアンスの強化も期待できます。サポートに関してもクラウドも含めて窓口がNECに一本化されているので、安心して運用できます」と北川氏は、NECの提案力とサポート体制を評価します。

導入後の成果

将来的なデータ増にも対応できる ファイルサーバ環境を構築

NIASの機能を使い、既存ファイルサーバの状況を分析した結果、過去1年間に未参照、未更新のファイルが70%以上あることが判明しました。この結果を受けてファイルサーバ統合後は、1年間未参照・未更新のファイルを自動的にAmazon S3へ移動するルールを設定しました。退避したファイルのショートカットをファイルサーバに残すことで、ユーザはクラウド環境を意識することなくすべてのファイルを利用できます。これにより、使用頻度の高いファイルのアクセス性能は保ちつ

つ、容量の柔軟性とコスト削減を実現します。今回のソリューションはAmazon S3を退避先として使うことにより、すべてのファイルをNetAppに格納し、ハードウェアを増設した場合の費用と比較して、5年間で約60%の運用コスト削減効果が見込まれます*。「今まではファイルサーバ更改時に5年後を見据えて大容量のファイルサーバを導入してきましたが、今回は利用頻度の低いファイルを安価なクラウドへ移動できるので、ファイルサーバは必要最低限の容量で済みました。ハイブリッドなソリューションを導入したことで将来的にデータ量が増大してハードウェア増設の必要性がなく、管理する

ファイル数も少なく済むことは、大きな導入効果だと思っています」と松本氏はソリューションの導入効果を話します。「導入前の段階で、NECは社内に弊社と同じ環境を構築して懸念点を洗い出し、詳細な事前検証をさせていただいたので、導入は非常にスムーズでした」と牧田氏は導入時のNECの対応を評価します。オンプレミスとクラウドのストレージにNIASを組み合わせるハイブリッド・ファイルサーバソリューションは、多くの企業が抱えるデータ量増大の悩みを解消する有効な対策となっています。

※2019年8月時点の購買コストをもとにNECで算出

お問い合わせは、下記へ

NEC AIプラットフォーム事業部

E-mail: info@nias.jp.nec.com

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への業務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インク
を使用しています。